



東深沢中だより

<https://school.setagaya.ed.jp/thiwa>

みしまの森学舎
世田谷区立東深沢中学校
校長 本田 仁
令和8年1月30日
第9号

コミュニケーション能力の必要性

校長 本田 仁

毎年の11月の終わりから12月にかけて校長と副校長による3年生との面接練習（校長・副校長面接）を行っています。その面接練習の質問項目の中に「これからの社会を生きていく上で、あなた自身はどのような力を身に付ける必要があると思いますか。理由も教えてください。」という質問があります。その回答として、本年度もっとも多かったのが「コミュニケーション能力」です。理由は様々ですが、やはりこれからの社会を生きていく上で必要なのは、人との良好なつながりであると考えているようです。

さて、皆さんは「コミュニケーション能力」はどのような能力であると捉えていますか。話すことが得意なこと、友達が多いことと思っている人もいるかもしれません。しかし、コミュニケーション能力とは、単に会話が上手であることではありません。自分の考えや気持ちを言葉にして伝える力、相手の話を最後まで聞き、その思いを理解しようとする姿勢、そして考えの違いを認め合いながら関係を築いていく力のことです。さらに、AIによると、話す・聞くだけでなく、表情や態度（非言語コミュニケーション）、相手の文化的背景や価値観の理解、適切な質問や共感、信頼関係構築までもを含み、ビジネスやプライベートで人間関係を良好に保ち、課題解決や目標達成のために不可欠なスキルと答えていました。

社会は急速に変化し、多様な価値観が共存する時代となりました。AIやオンライン化の発展・進展によって、情報のやり取りはかつてないほど便利になりました。情報はスマートフォン一つで手に入り、離れた人とも簡単につながることができます。その一方で、相手の表情や声の調子を感じ取りながら話す機会は減り、相手の思いや背景を想像しながら対話する力も弱まっているのではないかと懸念もあり、誤解やすれ違いが起こりやすくなっています。だからこそ、人と向き合い、対話を通して理解し合う力が、これまで以上に大切になっています。生徒たちもこのような課題を認識して「コミュニケーション能力」と答えているようです。

学校生活の中には、コミュニケーション能力を伸ばす場面がたくさんあります。授業での話し合いやグループ活動、行事、部活動、友達との日常のやり取りなど、思いがうまく伝わらずに悩んだことがある人も多いと思います。しかし、その経験こそが成長のチャンスです。自分の考えをどう伝えればよいのか、相手はなぜそう考えたのかを考える中で、人との関わり方を学んでいるのです。

コミュニケーション能力と答えた生徒の中には、普段の学校生活を見ていて「コミュニケーション能力あるじゃん。」と思える生徒もいましたが、やはり将来のことを考えるとしっかりとコミュニケーション能力を身に付ける必要があると考えているようです。

実際に、企業が求める能力の第一位はコミュニケーション能力であり、長年に渡って一位を続けています。やはり、多くの企業が「自分の考えを伝え、相手の意見を聞き、協力して課題を解決できる人」を求めています。知識や技能だけでなく、チームで働く力、相手の立場を理解する力、対話を通してよりよい答えを見つける力が、仕事の現場では欠かせないからです。どのような職業に就く場合でも共通して必要となる力なのです。

その基盤を作っているのが、現在の生徒の皆さんの日々の学校生活や家庭での会話になります。どのような場面においても、自分の考えを持ち、言葉にすることを恐れず、相手の話にも耳を傾けてほしいと思います。そして、大人の皆様は、子どもたちの言葉を途中で遮らずに聞き、気持ちを受け止める関わりを大切にしていきたいと願っています。その積み重ねが、子どもたちの自信となり、人と前向きに関わる力を育てていきます。

コミュニケーション能力は、一朝一夕で身に付くものではありません。しかし、日々の対話の中で少しずつ磨かれていく力です。生徒も大人も、ともに学び合い、伝え合いながら、よりよい人間関係と社会を築いていくことを願っています。

全校で取り組む危機管理 ～不審者対応避難訓練～

「学校周辺に不審者が徘徊している状況を想定しての安全確保体制づくりを確認する。」という目的で12月に避難訓練を実施しました。不審者侵入を想定し、校内放送による指示伝達とバリケードを用いた緊急防御の訓練をしました。

笛による合図で訓練が始まると、生徒たちは授業者とともに素早く教室に机を使ってバリケードを設置し、不審者の侵入を防ぐ態勢を整えました。目を合わせないようにし、静かに待つ時間は長く感じられましたが、どんなときでも本番を想定し、冷静に行動することの大切さを実感していました。今後も安全確保の継続的な訓練に取り組んでまいります。



未来への扉を叩く～面接練習を終えて～頑張れ！受験生

巻頭文にもあるよう、3年生を対象に校長・副校長による面接練習を行いました。多くの生徒にとって、校長・副校長と一対一で話すのは初めての経験。緊張で表情が固くなる場面もありましたが、15分の対話の中で、一人一人が「自分自身」「中学校生活の思い出」「志望理由」「将来の夢」について、真剣に言葉を紡ぐ姿が印象的でした。面接の練習は、単に受け答えの練習ではありません。

「自分を律する」＜清潔感のある服装、正しい言葉遣い、相手を敬うマナー＞

「自分を知る」＜これまでの歩みを振り返り自分の強みや課題を言葉にする＞

「未来を描く」＜自分がどこに向かいたいのか そのために何を今すべきかを考える＞

これらのことは、受験生のみならず社会に出るうえで欠かせないものです。1・2年生の皆さんも決してまだ遠い先のことと考えず、今の自分なら何を語るかを想像し、日々の生活を大切に過ごしてほしいと思います。進路選択に向けたご家庭でのサポートに深く感謝いたします。



1月のヒガシ



百人一首大会に
向けて練習中

生徒会朝礼

書き初め

地域でのボランティア活動

